

令和1年11月29日
横浜幸銀信用組合

第9回経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置いたしました。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的とし、平成26年12月2日に第一回経営諮問会議を開催、以後半期に一度の周期で「経営諮問会議」を開催しております。

令和1年10月30日（水）、「第9回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1、日 時

令和1年10月30日（水） 16:00～17:00

2、場 所

横浜幸銀信用組合 4階大ホール

3、出席者

（経営諮問委員）<敬称略>

長谷川 勉 （日本大学商学部商業学科 教授）

後 宏治 （公認会計士 税理士）

佐藤 明夫 （弁護士）

川上 陸司 （経営コンサルタント）

（横浜幸銀信用組合）

呉 龍夫 （理事長）

溝江 雅夫 （副理事長）

齋藤 智成 （専務理事）

有川 繁雄 （常務理事）

池野 和己 （常務理事）

金 忠善 （常勤理事）

土井 真一郎 （常勤理事）

平木 幸男 （常勤理事）

松山 眞治 (常勤理事)
藤田 敬二 (常勤監事)
石川 俊幸 (常勤監事)

4、呉理事長挨拶要旨

諮問会議も第9回となり、公的資金を受けてから、様々な指導を受け、役職員が考えながら業務を行い、令和1年9月期仮決算についても良い結果となっております。お客様、役職員、諮問会議委員のアドバイス・指導に感謝します。来年2月には新本店がオープンしますが、まだ多くの難題があり、今後の地域金融機関をどうやっていくのか模索していくので、ご指導・アドバイスをお願いいたしますとの挨拶を行いました。

5、当組合からの説明要旨

- ・令和1年9月期仮決算報告

6、意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- 宿泊業については、オリンピック開催後も勘案して取り組むべき。
- 顧客と本当の意味でメインとなり、関係性を作るべき。またその先のアドバイスも行うべき。
- 将来的にネットバンク等により、流動性の動きが加速することが予想されるため、流動性のチェックを重視すべき。
- 新たなことは、横並びの意識が強いため、他が行えば始める傾向があるが、それでは遅い。如何に先んじて行うか考えるべき。
- マネー・ロンダリングについては、FATF第4次対日審査が開始されており、大きな問題として意識すべき。

(2) 組合からの回答

本日は貴重なご意見を頂きまして誠にありがとうございました。

本日頂いた貴重なご意見・アドバイスを内部で検討し、内部管理の徹底、取引先への綿密なフォローアップと営業面での情報の集約の徹底、そして、お客様から安心できるとの評価を得られるような組合を目指し、今後の具体的な戦略、施策に繋げて参りたいと存じます。

今後とも委員の皆様のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしく願いいたします。本日は、長時間に亘り、有難うございました。

以上